科目名	特別研究	英語科目名	Thesis Work
開講年度・学期	平成 26 年度・通年	対象学科・専攻・学年	複合工学専攻電子制御工学コース 1，2 年
授業形態	実験・実習	必修 or 選択	必修
単位数	14 単位	単位種類	学修単位 45 h
担当教員	電子制御工学コース全教員	居室（もしくは所属）	電子制御工学科棟 3，4 階，テクノ棟 5 階
電話	0285-20-2254（平田）他	E-mail	hirata@oyama-ct.ac.jp（平田）他

授業の達成目標	授業達成目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育目標(JABEE)	JABEE 基準要件
1. 特別研究の内容を基礎，専門分野の知識を基に十分理解し主体的に実践していること。	② ④	○(B)	(c)(d-2)(d-3)
2. 適切で創造的な研究方法、問題解決能力，具現化能力を身につけ発揮できること。	② ④ ⑤	○(B)	(d-3)(e)(h)
3. 研究の内容を学校内および学校外において口頭及び論文等で適切に発表できること。	⑤ ⑥	○(B)，(E)	(d-2)(f)

各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法

1 および 2 は指導教員により，特別研究期間全体を通しての達成度合いを各項目に対して評価する。
3 は指導教員及び他教員 2 名の計 3 名により，中間発表会および最終発表会での達成度合いを評価し，それらを本科目の評価とする。さらに，学校外における発表について指導教員が評価する。

評価方法

1 は 30 点満点，2 は 40 点満点，3 は合計で 30 点満点（指導教員 10 点，他教員 10 点×2 名）の配分で各項目を評価し，合計で 100 点満点とする。60 点以上を合格とする。

授業内容

配属された研究室で，テーマを設定し，研究を自ら自主的に進める。また，指導教員から適時指導を受ける。
1 年次年度末には中間発表会で発表し，進展状況を全教員及び学生に報告する。
2 年次年度末には最終発表会で発表し，研究成果を全教員及び学生に報告する。
また，学校外での学会等での研究発表も必須とする。

キーワード	研究，開発，プレゼンテーション，論文
教科書	指導教員により異なる。
参考書	指導教員により異なる。

カリキュラム中の位置づけ

前年度までの関連科目	輪講Ｉ，輪講ＩＩ，卒業研究　その他全科目
現学年の関連科目	電子制御工学ゼミナール，電子制御工学実験　その他全科目
次年度以降の関連科目	

連絡事項

- 本科目は，本科および専攻科での学習の総まとめであるとともに，進学または就職してから必要とされる様々な研究・開発，問題解決能力やプレゼンテーション方法を学ぶものである。したがって，本科目に対しては誠実な態度で臨む必要がある。研究時間は正規の時間割の時間以外も含まれる。受講する学生は指導教員の指示のもと，真摯な態度で研究を進めること。
- 基本的に指導教員との共同研究という形であり，場合によっては学校外の企業や研究機関との共同研究であることもあるので，知的財産権や守秘義務等についてよく理解しておくこと。
- 学校内での発表会以外に，学会など学校外での発表も必須である。発表時期・場所・方法等については指導教員と相談して決めること。

シラバス作成年月日	平成 26 年 2 月 28 日